

「One for All,
All for One!」

ラグビーと労働組合

JAL不当解雇撤回争議団
松山市在住

林 恵美

JAL愛媛原告を支える会

あの空へ ニュース 帰ろう

発行：JAL不当解雇とたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 TEL 089-945-4526



JR松山駅前宣伝の後で（10月16日）

私も
応援します

確認や点検を怠ると事故に…
営利優先の運営はそれを疎かに

愛媛医療生協 倉田 均

私が結婚した年に日航機墜落事故がありました。テレビで御巣鷹山の様子が映し出され、飛行機事故の恐怖を強く感じました。山崎豊子さんの「沈まぬ太陽」で綴られていた犠牲者遺族の苦しみを痛々しく感じたことを覚えています。

山口宏弥さんの「安全な翼を求めて」で墜落事故の必然性として、整備士削減など儲け優先の運営を指摘されています。多くの人命を預かる航空輸送。安全最優先が大前提です。パイロットも客室乗務員も乗客に安全、安心の旅を提供するために頑張ってきたことが、山口さんたちの労働組合のたたかいの中にしっかりと示されています。

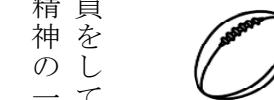
医療・介護サービスも同じです。確認や点検を怠ると間違いや事故につながります。営利優先の運営はそれを疎かにします。

経営破たんしたJALは経営最優先の手段として労働組合のベテランパイロットや客室乗務員を解雇したことはあきらかです。JALは東京オリンピックのオフィシャルスポンサーとなり、「世界で一番お客様に選ばれ、愛される航空会社になる」と宣言しています。安全最優先のサービスを提供する事。それを社会に示すことが問われていると思います。

早期の解決を強く願います。オリンピック委員会に要請ハガキを出しましょう。

2010年大晦日に不当解雇されてから争議生活は丸9年にならうとしている。長きに渡るご支援に感謝するばかりだ。現在年内解決をめざして全力を上げている。日航労務はこれ以上時間を引き延ばすのではなく誠実に対応すべきだ。

9月から行われたラグビーワールドカップ日本大会は南アフリカの優勝で11月2日幕を閉じた。観客も礼儀正しい。



た。観客動員数のべ170万人超という盛り上がり。周りにも俄かラグビーファンを多く聞く。ゲームの魅力と共にラグビーが持つ五つの価値「品位・情熱・結束・規律・尊重」が心に響いたのではないかと言われている。観客も

かつて客乗組合の役員をしていた頃、そのラグビー精神の一

つ「一人は皆のために、皆は一人のために」のフレーズが響いた。組合運動のありようと大きいに共通すると思いニュースに取り入れた。同時に当時の組合には三つの大切「仕事を大切に、仲間を大切に、組合を大切に」という理念があつた。入社してすぐクアラルンブル事故を経験し、先輩たちから「会社任せではお客様の命も仲間の命も守れない」と聞かされた。（裏面へ）

なんとしても 職場に戻る

↑9月18日国連大学
ディーセント・ワーク実現
に向けたフォーラム会場前



11月10日 羽田空港アピール行動（上下段とも）



11月11日 JAL本社前行動



11月11日 蒲田駅前で

この三つの理念にも心を動かされ「この組合を大きくしたい」と加入したのは乗務を始めて9ヵ月目だった。これらは現役の仲間にぜひ引き継いで貰いたい航空労働者としての基本である。

争議団の理念は差し詰め「明るく、楽しく、元気よく！勝つまで Never Give Up!」と言つたところ。

「ラグビーや青雲一抹あれば足る」愛媛の俳人 中村草田男の一 句。ラグビーは冬の季語だと初めて知った。



灼熱地獄だった愛媛にも少しずつ冬が訪れている。
引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。



職場に戻る

↑9月18日国連大学
ディーセント・ワーク実現
に向けたフォーラム会場前



11月11日 JAL本社前行動



11月11日 蒲田駅前で



<写真はJAL不当解雇撤回裁判原告団-Facebookより>